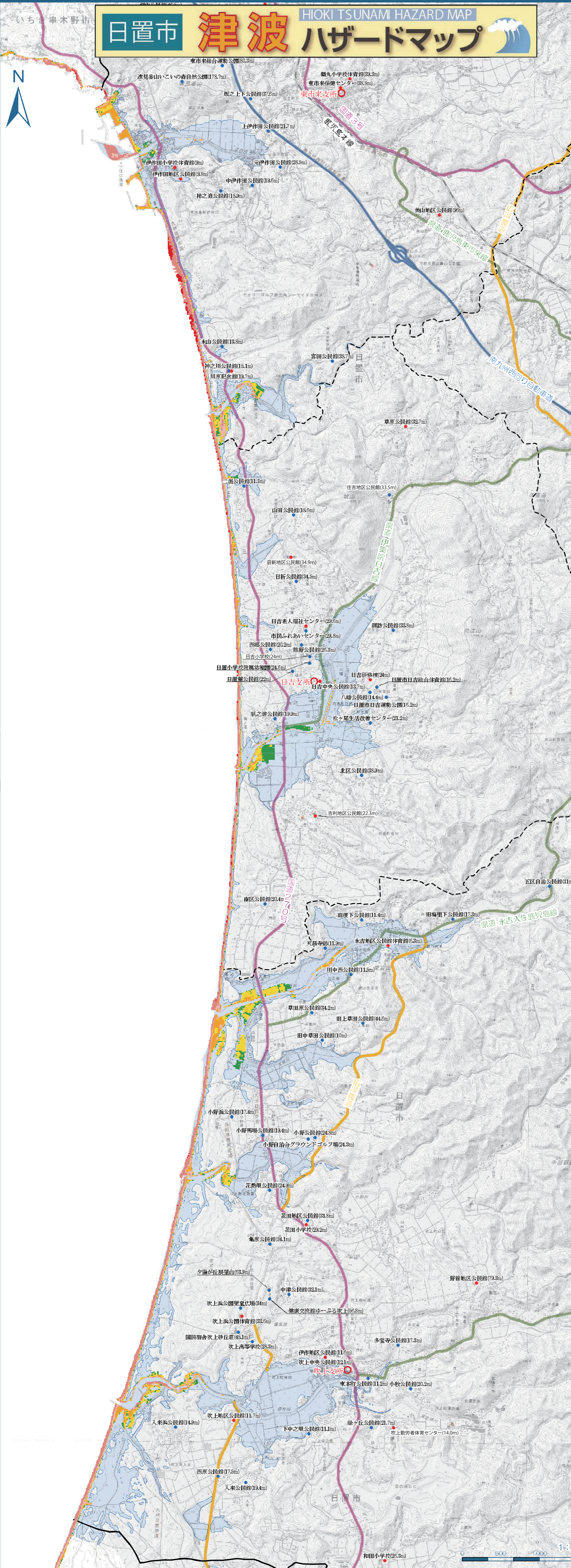


日置市 津波 ハザードマップ



津波避難の心得

- 1 地震から身を守る**
地震から身を守りましょう。火の始末(ブレーカーを落とす)も忘れずに。
- 2 ただちに高台へ避難**
強い揺れやゆっくりとした揺れを長い時間感じたときは、津波警報などの発表を待たずにすぐに避難しましょう。大切な物が家にあっても取りに戻らないでください。地震を感じなくても津波警報が発表されたときには避難しましょう。避難する際のポイントは「より速く」ではなく「より高い所へ」です。
- 3 避難は徒歩が原則**
道路上のガレキや陥没等により車での移動はかえって危険な場合があります。車を放置して避難する際は、道路の端によせ、鍵をつけたまま避難してください。
- 4 海沿いや川沿いには近づかない**
津波を見に海沿い付近に行くようなことは絶対してはいけません。海沿いはもちろん、川沿いも津波が襲ってくる恐れがあるため危険です。
- 5 正確な情報を得る**
津波警報などの情報は避難先で確認しましょう。中告知放送や防災行政無線、エリアメール・緊急速報メールテレビ、ラジオ等により正確な情報を入手しましょう。
- 6 地域での協力が大切**
避難するときには隣近所へ声を掛け合い、助け合い、協力しましょう。各地区の自主防災組織で避難訓練を行うことも重要です。
- 7 津波が引いても勝手に戻らない**
津波は何度も襲ってきます。警報や注意報が解除されるまで避難場所等にとどまり、身の安全を確保しましょう。

津波警報・注意報の種類

種類	発表される津波の高さ	
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の発表
大津波警報(特別警報)	10m超(10m<予想高さ)	巨大
	10m(5m<予想高さ≤10m)	
	5m(3m<予想高さ≤5m)	
津波警報	3m(1m<予想高さ≤3m)	高い
津波注意報	1m(0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)

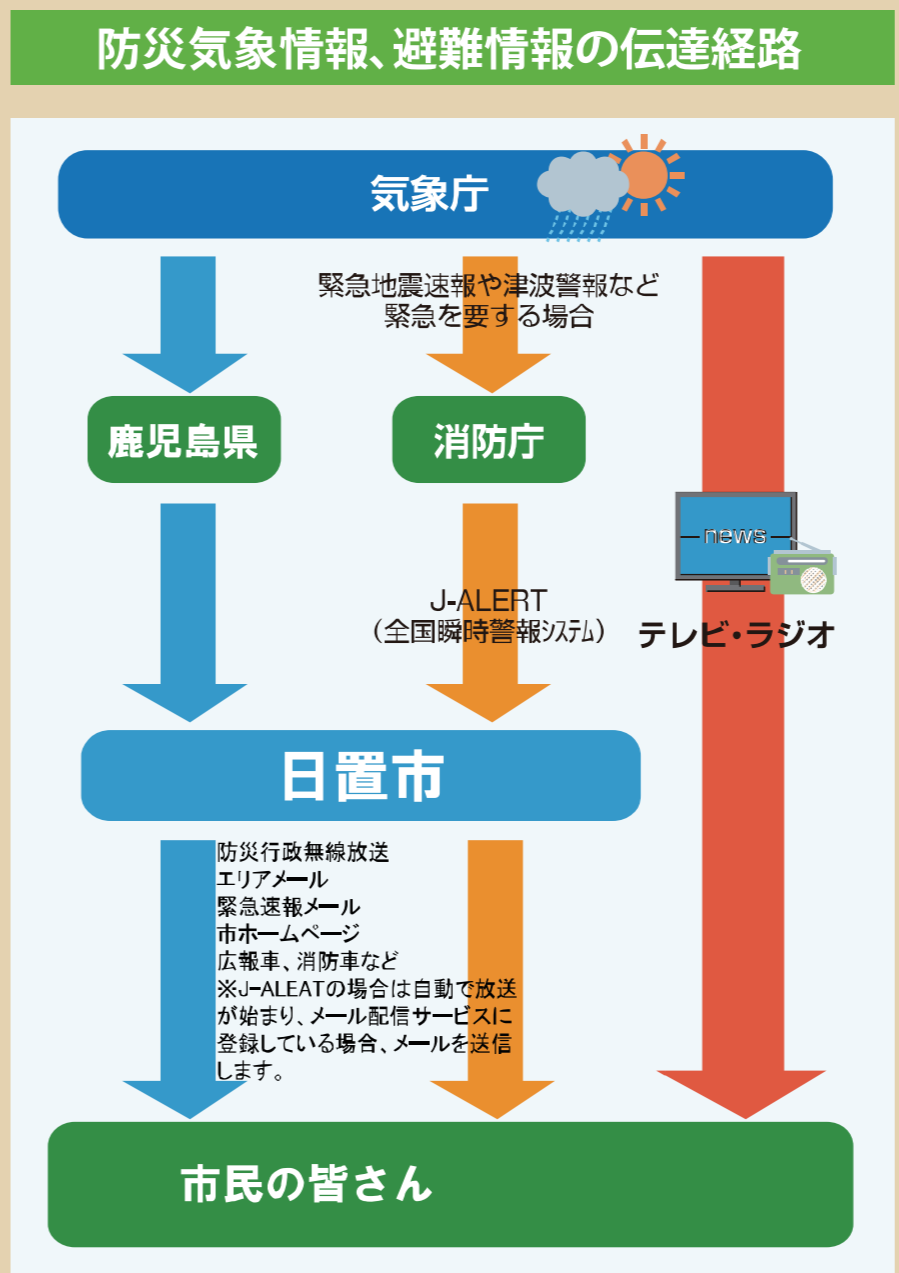
気象庁より、**地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報が発表されます。**

発表される津波の高さについては、沿岸で予想される津波の高さを求めることができる場合、「数値での発表」欄のとおり発表されます。ただし、地震の規模(マグニチュード)が8を超えるような巨大地震の場合、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表して、非常事態であることを伝えます。

津波警報・注意報のポイント

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。

(気象庁ホームページより)



津波の速さはジェット機並み

- 地震により海底が隆起・沈降
- 海面変動が大きな波となり四方八方へ伝播
- 沿岸へ襲来

津波が陸地に近づくにつれ、後から来る波が前の津波に追いつき、波高が高くなる。

避難可能距離

- 避難可能距離は、避難可能距離 = (歩行速度) × (津波到達時間 - 避難開始時間)
- 仮に、津波到達予想時間を10分、歩行速度を1.0m/秒、避難開始時間を2分、5分とした場合、それぞれ避難距離は、次のとおりとなる。

約500m (60m/分 × (10-2)分) = 480m
約300m (60m/分 × (10-5)分) = 300m

(鹿児島県津波避難計画策定指針より)

防災関連機関一覧

名称	電話番号	所在地
日置市役所本庁総務課	099-248-9401	日置市伊集院町第一丁目10番地
日置市役所東市来支所地域振興課	099-274-2112	日置市東市来町長里87番地1
日置市役所日吉支所地域振興課	099-292-2112	日置市日吉町日吉377番地1
日置市役所吹上支所地域振興課	099-296-2112	日置市吹上町中原2847番地
日置市消防本部(消防署)	099-272-0119	日置市伊集院町徳重一丁目10番地10
日置市消防署北分遣所	099-274-0119	日置市東市来町長里87番地1
日置市消防署南分遣所	099-299-3019	日置市吹上町永吉3779番地
日置警察署	099-273-0110	日置市伊集院町徳重一丁目11番地1
鹿児島地方気象台	099-250-9911	鹿児島市東元町4-1 鹿児島第2地方合同庁舎
串木野海上保安部	0996-32-3592	いちき串木野市浦和町54番地1

津波浸水想定

図中の津波浸水想定については鹿児島県が設定した区域を採用しています。

津波浸水想定について(鹿児島県ホームページから抜粋)

1 目的
平成23年12月に制定された「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき最大クラスの津波による浸水域と浸水深を明らかにすることにより、住民避難を柱とした総合防災対策の基礎とします。

2 公表内容
鹿児島県沿岸に最大クラスの津波をもたらすと想定される12の地震モデルでの津波のシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域、浸水深を示しています。
なお、このシミュレーションは、平成25年3月に危機管理委員会が公表した「鹿児島県地震等災害被害予測調査」の津波浸水想定図に基づいています。

3 津波浸水想定設定の留意事項
今回想定した地震・津波の発生頻度は極めて低いものであり、次に発生する地震・津波を示したものではありません。また、地震・津波は自然現象であり不確実性を伴うものであることや、現在の科学的知見には限界があることなどに留意する必要があります。
なお、今回設定した最大クラスの津波については、津波連層モデルの新たな知見が得られた場合には、必要に応じて見直しを行います。

4 今後の対応
今回の津波浸水想定を基に、住民の避難方法の検討、市町村防災計画の改定などに取り組むこととなるため、県では市町村に対する技術的な支援や助言に努めることとしています。

浸水深	色
0.01m以上 ~ 0.3m未満	緑
0.3m以上 ~ 1.0m未満	黄
1.0m以上 ~ 2.0m未満	橙
2.0m以上 ~ 3.0m未満	赤
3.0m以上 ~ 5.0m未満	紫
5.0m以上 ~ 7.0m未満	黒

凡例

- 避難所(標高[T.P.])
- 津波避難場所(標高[T.P.])
- 標高10m以下区域
- 行政界
- 旧行政界
- 鉄道(J.R.)
- 高速道路
- 国道
- 県道
- 広域農道

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第266号)